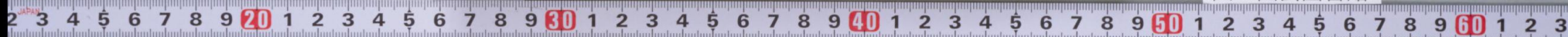




華鳥譜 1冊 寄別11-3 00-001

国立国会図書館



437-17

華島譜序

皇國羽族之夥不可勝數而其足以供常饌者亦不下數十種茲摘錄之方得六十有一品各為圖二名標倭名漢名其未詳者闕併記氣功用題曰華島譜有客難曰此是一禽譜耳何以有華島名乎余曰六十一為華字乃六十一禽謚之謂也客莞尔而去遂以此為序萬延二年辛酉正月之望養竹老人森立之書于作樂屠蘇之南廂下



目次

一	まるづる	二	ころづる
三	あろづる	四	かう
五	かろ	六	ひろ
七	かりか縁	八	まろかん
九	はくそう	十	ちうかん
十一	あひる	十二	かも
十三	かるも	十四	おろ
十五	まろ	十六	あろ
十七	あろかも	十八	ころづる

十九	あろも	廿	かろ
廿一	おろ	廿二	かも
廿三	とろ	廿四	さろ
廿五	あろ	廿六	ころ
廿七	ちろ	廿八	やまろ
廿九	みろ	三十	ばん
卅一	まろ	卅二	ほろ
卅三	むろ	卅四	のろ
卅五	ふろ	卅六	つろ
卅七	あろ	卅八	ちろ
卅九	あろ	四十	又



まかつる



月世宮文



ムろつる

まかづる 一名かべづる 一名ねづこづる

鵲すう角かく

灰鵲はいかく

余曾三よぞうさん
百鳥図

味甘鹹あまから毒どくふ 虚きょを補おぎなひ氣き力を益えき 蟲むしを殺ころす

中風癆瘵ちゆうふうろうさいすつて虚損きそん百病ひやくびやうを治なす五疳腹大ごかんぷくだい

手足瘦てあしすく多おほし 味あじ噌そう汁じゅうを食くすれハ五疳脱肛ごかんだつこう及

水腫下血すいしゅげっけつを治なす性温せいうんよりて老人虚寒らうじんきよかんの澄あやみそ

は 飛血氣實ひけつきじつの者ものハこれを忌いむ

今食用いましょくようの鶴かくハ皆是みななり然しかも味陽鳥あひやうちうハ次つぎく中

品ひんあり朝鮮琉球ちようせんりゅうきゅうの産う多くハ是こなり

○月律官文



あろつる

あろつる

陽鳥 本草拾遺

凡鶴類の中此物を以て最上品とす
性味功能まろつるに同じ

（月律官文）
月律官文



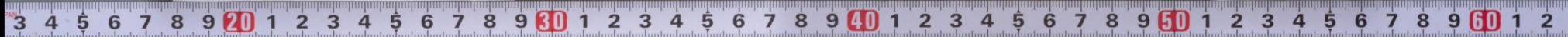
かう

月書言文

あろづる 一名そでぼろ

性味功効 まかつるま 同 但 其味よりてハ下品とす

開洋館藏





かり



かう

一名かうのとり

観

味甘酸小毒あり味佳うん食をうず腫病を致す

月日食飛松



ひーん



かり 一名まかん

味甘温毒かー味厚く脂多くして美なり腎を
補ひ筋骨を強くし麻痺を治す中風の類證小
はし虚弱の人常ニ食して宜しからず勝る病後
ニ食して能氣血を補ふ但多食すバ氣を動を

川清齋藏板





かりうね



ひーふ

湯

性鴈ニ同じ其味鴈ニ劣らず其臭ハ鶩ニ似たり
故ニ尤賞美す但其肉少しく硬きあり

問津館藏





とくいん



月世宮文

かりう祿

性味功熊鷹子同

門津館藏





もくかん

性味鴈子同じ味淡脂少くて佳なり
秋八月もくかん先至り次ニかりが祿来りまかん
最後よ至り春二月の末まかん先歸り三四月小
至りもくかん最後よ歸る

門津館藏

はるてう





たうかん



はくろう

鵞

味甘大温毒あり鹽蔵し或炙食て氣力を益す
 關東奥州の邊小多し至て脂多く過食すルバ
 眼疾頭瘡を發す

門津館藏





あひる

たうがん

鶯

味甘平毒か―能五蔵を利―五蔵の救を治す多
食すは瘡疥を敷也

川
津
館
蔵
板

かも



あひる 一名 あひろ

鶯

味甘冷毒あり 虚を補ひ 熱を除き 小兒驚癇を
療す 卵も同功あり 病人は忌むべし
食品 ちろあひるをよみ

門津館藏

かも 一名まがも 一名あをくび

鳧

味甘微温毒少一中を補ひ腹中の蟲を殺す水腫を治し惡瘡を療ふ

鳧類甚多一其中あをくびを最上と人肪多く味美みして性平なりこれに補益の功ハ鴈及バズ脾胃虚の人食之ハ金瘡血運ハ忌べ一過食すれば痰を湧り又ハ疥癬を發す

かるかも





おかう

うるがも

性味功能かも同じ

江戸
錦
蔵
松



えしう

おふり
尾尖鳥（尾尖鳥）
通盛京
性味功用（性味功用）かにも（かにも）に同じ（に同じ）

（）
附
津
館
蔵
本



あまうし

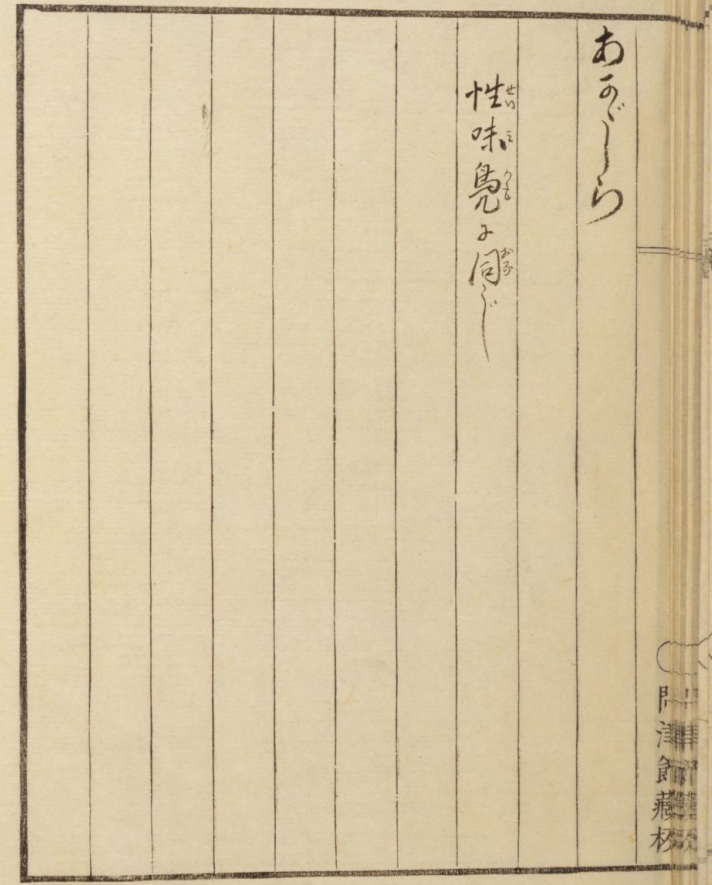
はいろ

性味^{せいみ}鳧^{かり}子^こ同^{おな}し川^{かわ}子^こ居^ゐる上品^{じゆんぴん}海^{かい}子^こ居^ゐるの其^{その}味^{あじ}
腥^{しやう}く^くて^て芳^{ほう}屯^屯り

川子居る
上品海子居る
其味



あーかも



あーかも

性味 暑く 同

津 録 校



アヒ

アヒガモ
性味 寒 平 同

国立国会図書館蔵



大かも



月世書成

しろがも

性味大抵鳥に似たり
但味よりうへ
鳥の
うち最下品なり

月世書成



かつふり

おがも

鴈 雁

味極めて美しきものに次で上品す

秋来る事かもより早く春来る事かもより後

さう

江戸
澤館
蔵



おとぎ

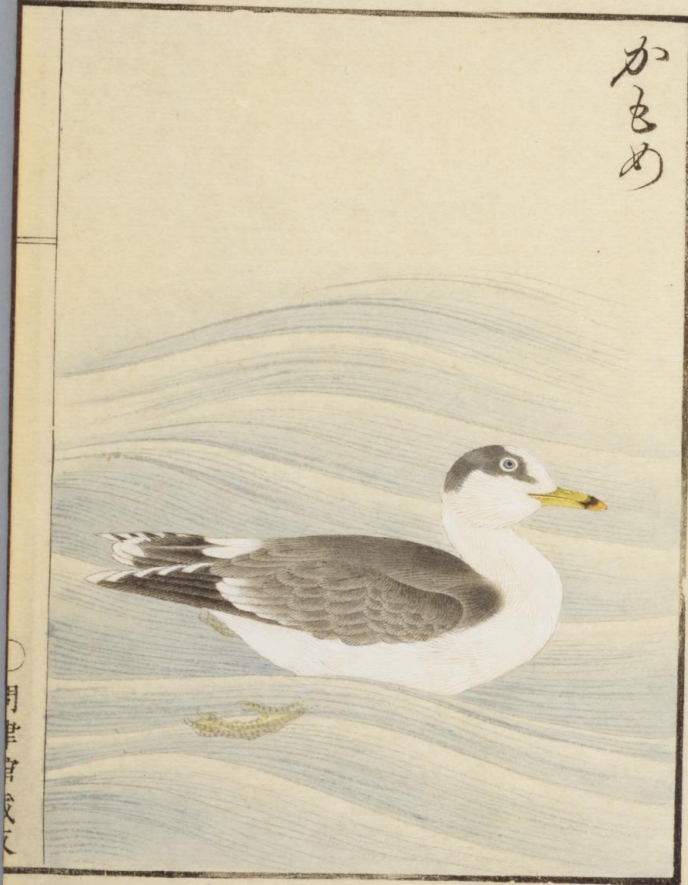
かいつり

鵜飼

味甘温毒あり 中を補ひ氣を益す 煮食つば
味臭氣ありて佳く 炙食と能く 美し 痔漏脱肛
を患るの人これを食ハ其効神の如し

糸の名なり 風東をハむらちやうと云ハ

津館蔵



かもめ

おとろ

鵜

味甘平毒かー風鬼の毒を去る

津館蔵



と
杞

か
も
め

鷗

味甘温毒

江鷗海鷗の二種あり海産ハ形稍大あり

津館蔵

さ
紀



と
紀

朱鷺^{あま}
經禽

紅鶴^{こうかく}

汪類食
物本草

味甘微温毒お一婦人血滯を治す肉性良く能ハ瘡を敷す

津館蔵



あをさね



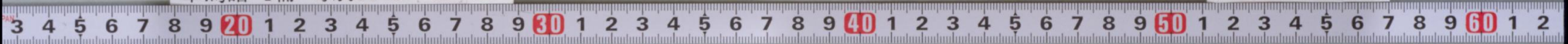
○月書院蔵

さね 一名あをさぎ

鷺

味鹹平毒なし脾胃を補ひ瘦を以や一氣を益す夏月の味最甘美

月書院蔵



同書官文



唐らしき鳥

あをさだ

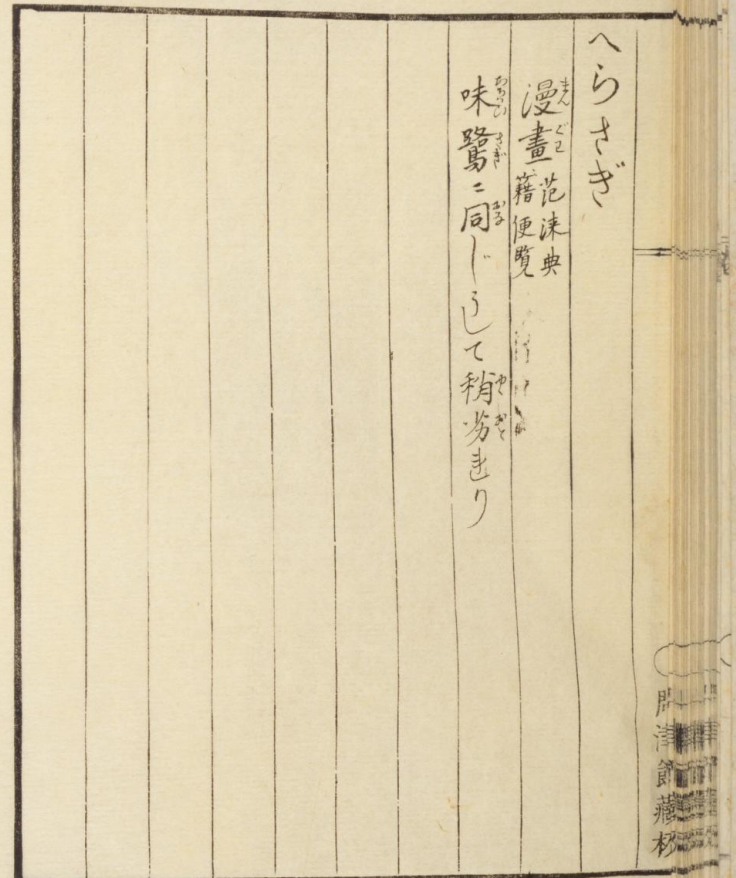
蒼鷺さうろ 雀鳥さくちょう 錫しやく

性味功せいりきこう能鷺のうろニ同し但味最甘美汗を止め小便せうべんを利するの効あり

津館



○ 同 書 官 蔵 文

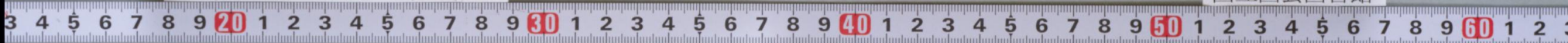


へらさぎ

漫畫 范涑典
稽便覽

味鷺ニ同にして稍劣まり

開 津 館 蔵 本





やまのうさぎ

月津宮殿

たひさだ
 白鷺子 本草綱目引
 性味 鷺子 江類食物本草
 似 之 稍 やが 芳 か 甚 し り

月津宮殿
 蔵
 極



みぞごお



門
津
館
蔵

やまごは五位

味甘鹹平毒少
炙食ハ臭蝦の毒を解す病人
食之益也

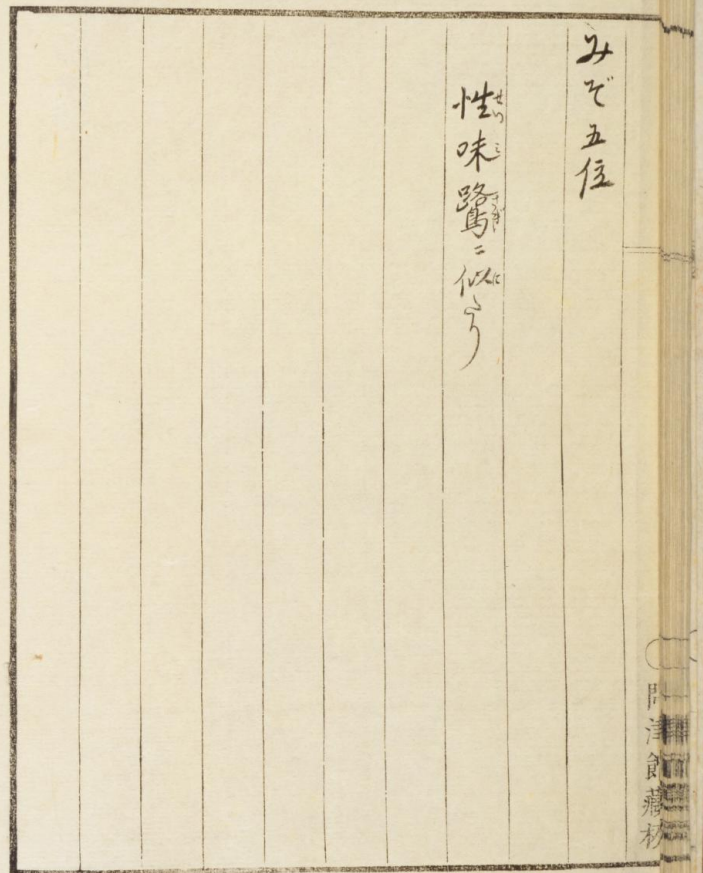
門
津
館
蔵





もん

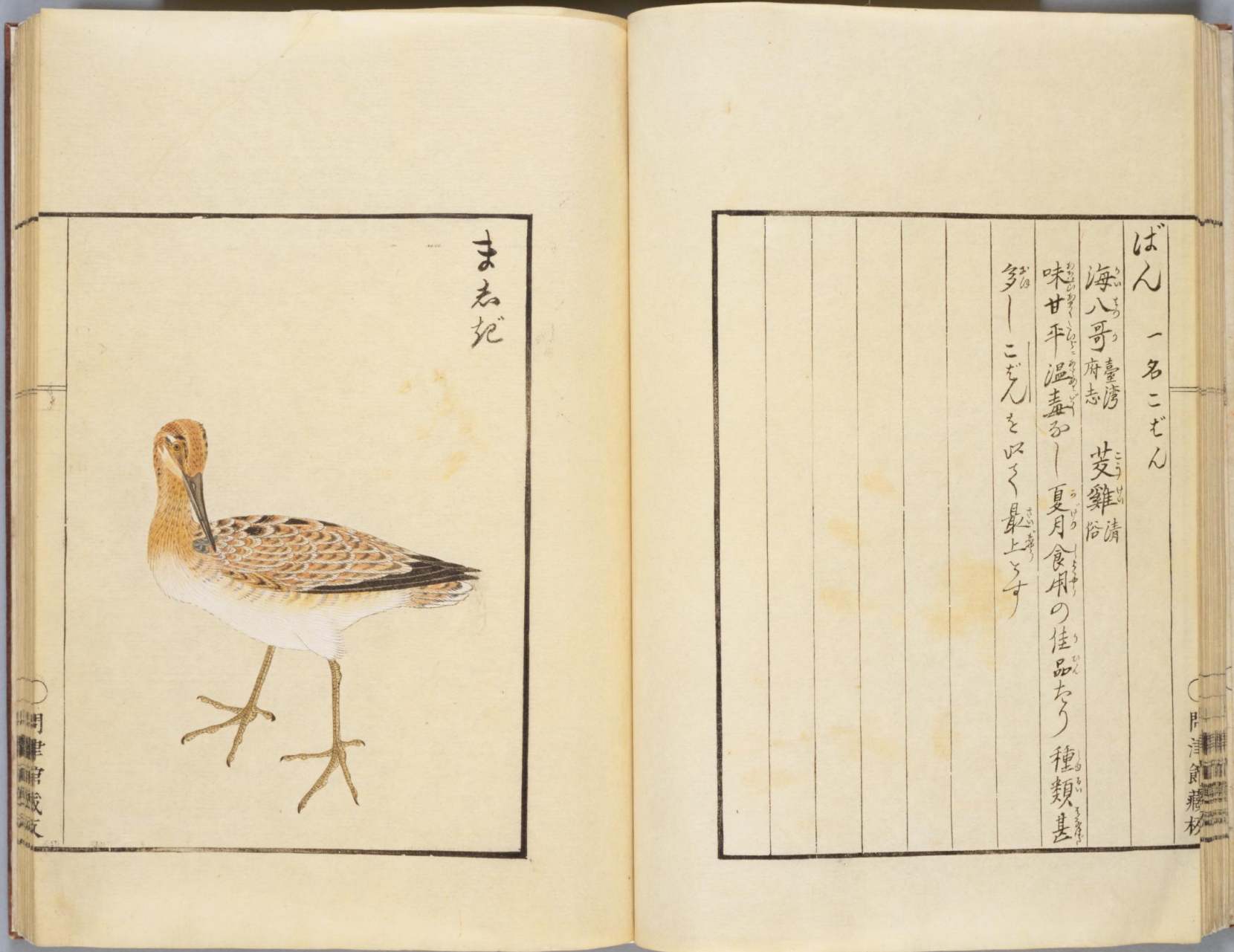
明
津
館
蔵
文



みで五位

性味路鳥ニ似る

明
津
館
蔵
文



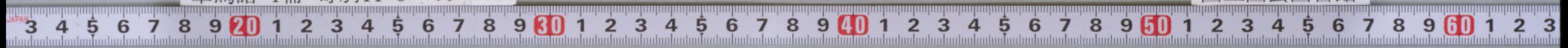
まねね



ばん 一名こねん

海八哥台湾府志 艾雞清俗
味甘平温毒夏月食用の佳品なり 種類甚多
— こねんを以て最上とす

月清食療抄





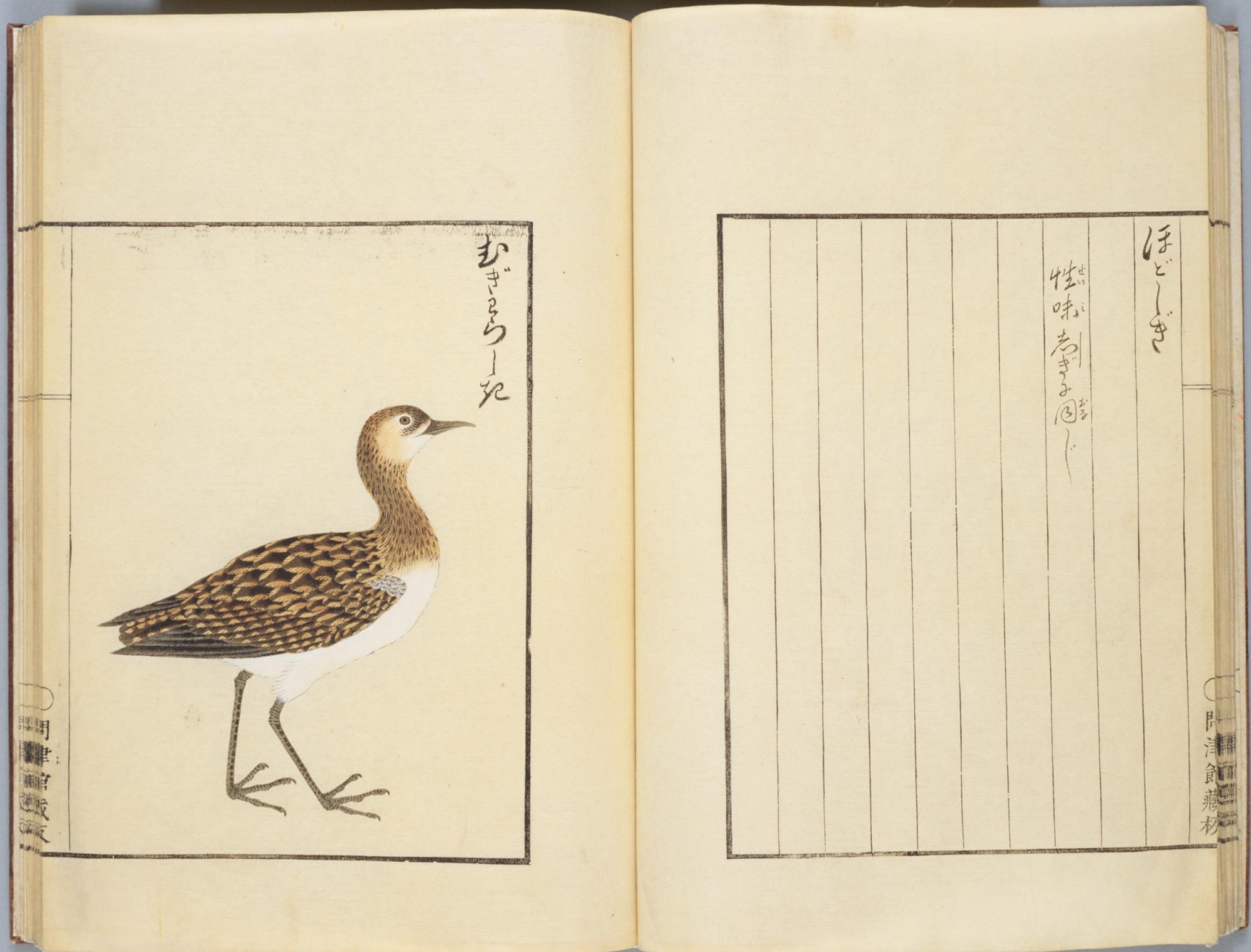
ほととぎす

まふた

鶉

味甘温毒を補い中を温む此物品類
かや多く何をも食してより鴨鳥類に似て
性淡きものなり

津倉蔵



むぎらう



ほと

性味 志き子

清食蔵





のかん

かぎらあだ
性味あまきり
同

川
津
金
蔵
松



ふひか



明
津
官
蔵
印

のがん

鵪鶉

味甘温毒あり 脂多くして味美腸ニ臭氣あり
能く虚を補ひ筋骨を強くし 麻痺を治す多食
至らざる

明
津
官
蔵
印





つるふしか



ふしか

秋雞

夏雞

歙縣志

稻雞

寧波府志

味甘溫毒

一

品類

甚多

一

月津館藏



あゝいひか



つるいひか

性味^{せいみ}うい^{うい}か^かみ^み同^{どう}じ

問津館藏

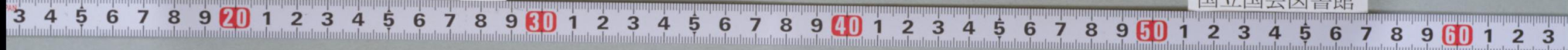


あう

あういふ

性味いふか

門
洋
館
蔵
本





あとり



あとり

呼潮 岡書南

味甘温毒あー 能気血を調ふ

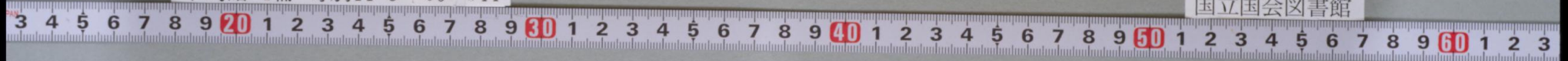




う

明
治
維
新
後
の
鳥

明
治
維
新
後
の
鳥





にとり



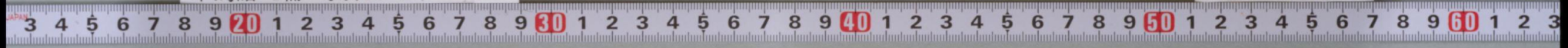
門
書
蔵
印

う

鷄

味酸鹹冷微毒有り肉大腹鼓脹を治し水道を通
 利し骨鯁を治す
 江海の二種有り食用海産を上とす江産ハ味
 悪し食ふたず

門
書
蔵
印





かしら
めんそう



にえと里

丹雄雞

味甘温毒少
肺腎を補ひ脾胃を調ふ



ちやほ

かえんどう

黄雌雞

性味雄同 老人虚弱の人みは

雞卵 かえんとうと鳥雌これより味甘平なり

微寒あり 触五蔵を安んず 狂を治す 天行熱疾

みよ 脾胃虚弱の人食して益あり 醋を煮て

食ふ 痢病を癒す

おたつけ



あやほ

性味丹雄雞子同し

問津館藏本



志ろあんきんちやほ雄



明
律
書
成
元

おふつけ

烏骨鶏

性味ちろう子同中を補い痛を止む婦人の産後より

開
洋
館
蔵
本





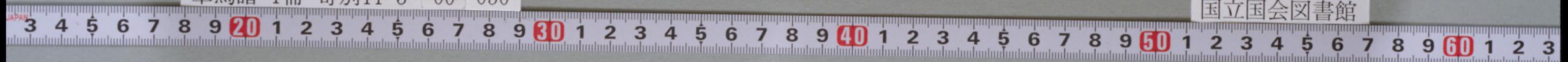
志乃かんきんちやほ 雌



志乃かんきんちやほ 雄

性味ちそうと同一

月津食蔵





たうまる

志ろかんきんちやぼ
性味黄雌鶏子同

月津食療



志やも

たうまる

鶏ニ雞ケイ

性味セイミちろうチロウようヨウ芳ホトきんキン

開洋館藏



高也也

性味せいみちよくちよく子こ存ぞんに

性味せいみちとう
子おとこなづけ

子^お子^よばけ

華鳥譜 1冊	寄別11-3	00-	053
--------	--------	-----	-----

00- 053

國立國會圖書館



やまと里

明神館藏

きじ

雉

味甘酸温毒か 肝を補ひ氣力を益し 虚寒
 の人食して益あり 病人食ふとくす 其肉味美
 しく 上膳子供す 然も 秋冬食ふ 益あり 春後
 多を腥く 脂あり 味佳る 且毒あり 食べし

明神館藏



は
と



やまご
里

山
雞

味甘温ハ毒あり其肉味美いじにして雉肉けいニあ似にず
雌肉めいも勝まさまり功能こうのう雉けいと同おなじ瘍瘡やうそう有あり人ひとハ食たふ
型かたちもも似にず

問津館藏

門
鳥
譜
卷
之
一

やまはと



はこ

場 鴿

味鹹平毒かゝ家鴿野鴿の別あり皆同性はて
食すつゝ能く悪瘡癰疽を治す

門
鳥
譜
卷
之
一



うつら



やまばと

味甘温 毒あり 虚を補ひ 血を活す

月津食療本



うづら

鶉

味甘平、あじなま一々ひと毒どくなし、うずら鳥中の美味大ニ、ご五歳ごさいを
補おぎなふ食けて益えきあり、うずら病人びやうじん忌いむ事ことあり、うずら但たゞ四月しがつ以前いぜんハ食くらひ
至いたるる、うずら四月しがつ以後いご食くらひてよ、うずら木の菌きのこと合食あひくらするハ痔ぢ
をおこす

ひもり





ひぐり

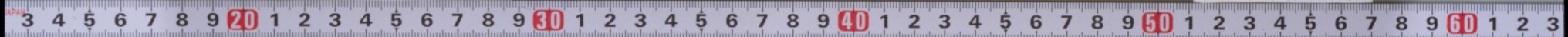
天鷲 告天子 潜鷲類書
性味大抵鷲ニ同 味甘温毒少
江陰縣志

開洋館藏

おとと



明華館藏





志め



明
澤
館
蔵
板

むくどり

味甘美毒あり病人食てよし

明
澤
館
蔵
板





ひよとら

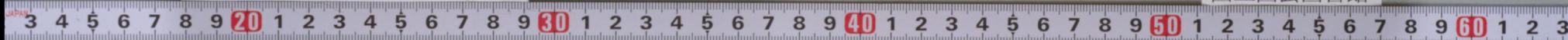


明津宮蔵

志め

味性^{せいの}とらに雀^{すずめ}の似多^{おほく}り

明津宮蔵





きつね

明徳堂蔵

ひよどり

味甘温毒あり中を暖め氣を壯ふす病人忌み
事あり

明徳堂蔵

かたせみ



月津館蔵

きりぎりす

啄木鳥

味甘酸平毒少一勞蟲を追ハ風癩を治一痔漏
を愈一鍋釜を磨ず

月津館蔵



すゝめ

開津館蔵

かきせみ
 鵲ハシ 鴉カ 臭くさ 狗いぬ 本草拾遺
 味甘鹹平 毒おー肉臊腥おーて食子耐ず
 焼研て服まれば臭骨肉入る多ふ神効あり煎汁
 を服まると亦よー

開津館蔵



かさね

同津館蔵

すめ

雀

味甘温毒かし大ニ陽を補ひ腎部を壯し腰
膝を暖め小便を遠くす男子陰痿を治するの
奇効あり藥を服する人食べからん

同津館蔵



ほととぎす

同書第1巻

かきぎ

韻

此鳥東國より来り筑前後肥前後より多し

同書第1巻



つみみ



明律官成反

ほろぎん

子蒿鳥

文説

種鳩

史記

姉歸

賤高唐

子規

徐廣史記注

味甘冷毒かゝ痘瘡の焚毒を除き蟲を殺す

日本書紀



オオムスビ

（月世）

つぐみ

味甘平毒あり胃を開き食を進む病人食て忌
ことゐ

（月世）



からす



月津宮にて

烏鴉

はぶと 一名やまぐし 江戸市中の者皆これなり

味酸^{あま}澁^{しぶ}平^{へい}毒^{どく}ある一^{いっ}氣^きを下^{くだ}し蟲^{むし}を殺^{ころ}す五^ご勞^{らう}七^{しち}傷^{やう}
吐血^{とけつ}欬^{がい}嗽^{そう}及^{およ}小兒^{せうに}疳^{かん}疾^{じつ}ニ効^{きう}あり

開洋館藏

特 7
17

別 11
3

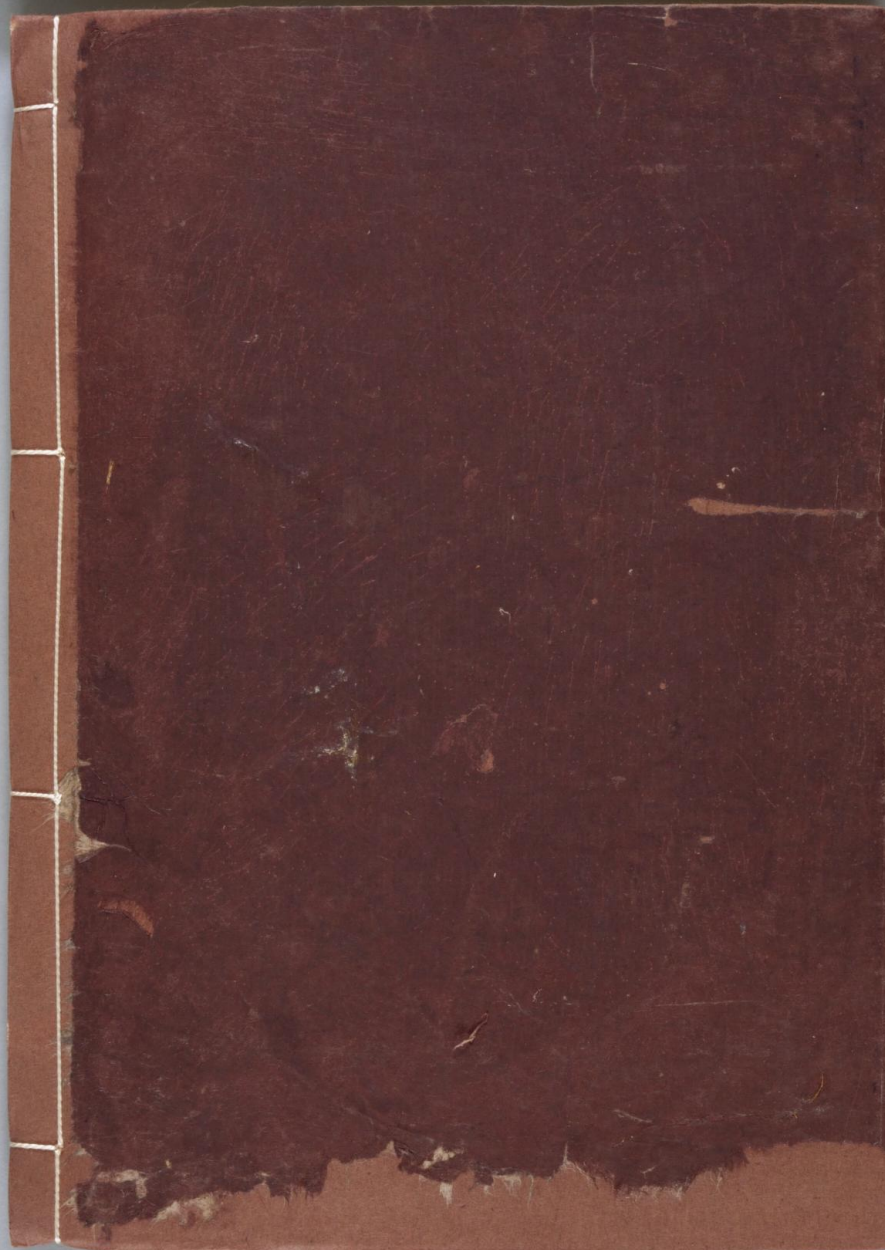
からす 一名をーぼと 一名さとからん

慈烏

味酸鹹平毒かー勞を補い瘦を治ー欬嗽を止
むふ灸食て効あり



問津館藏



華鳥譜 1冊 寄別11-3 00- 071

国立国会図書館

